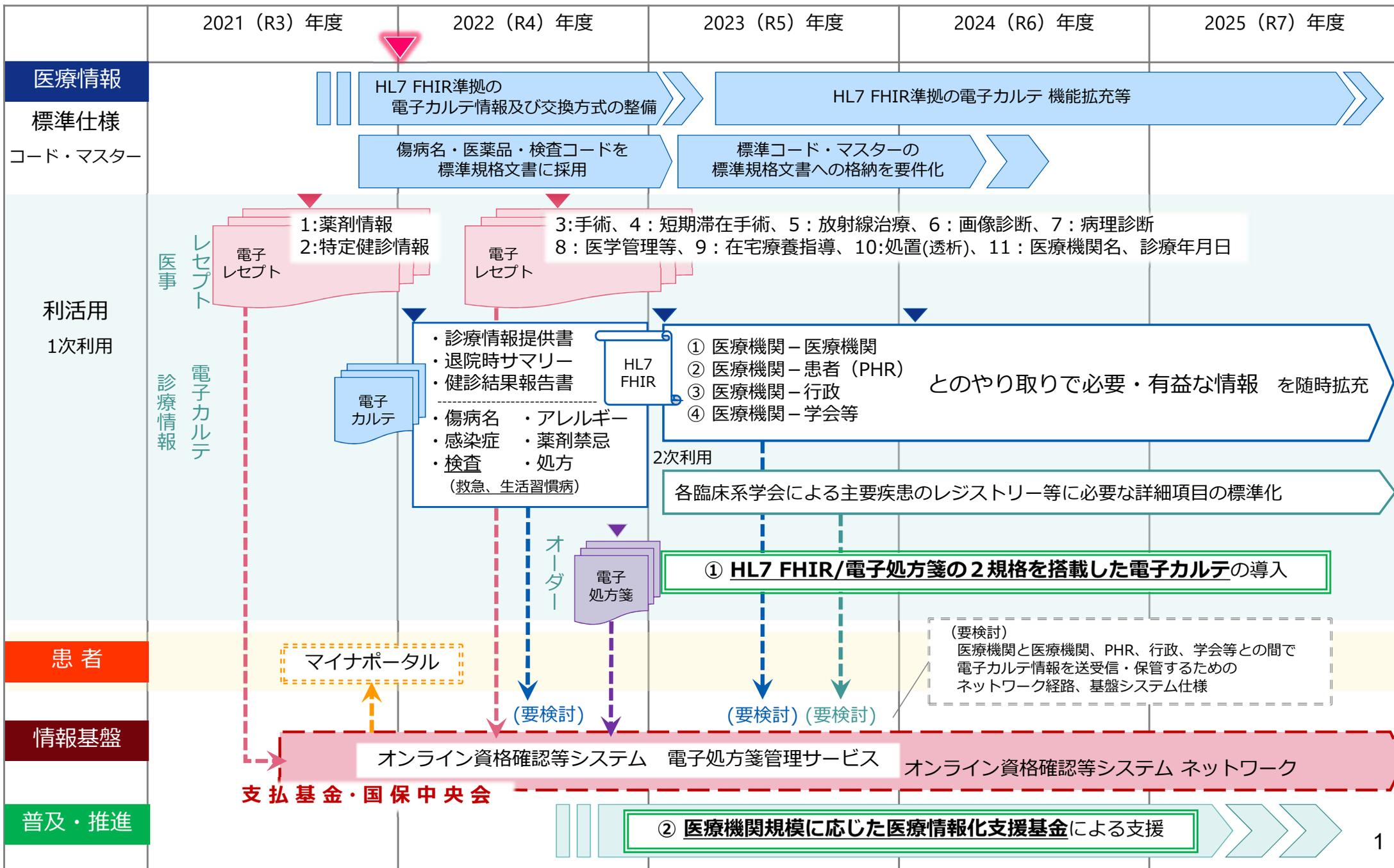


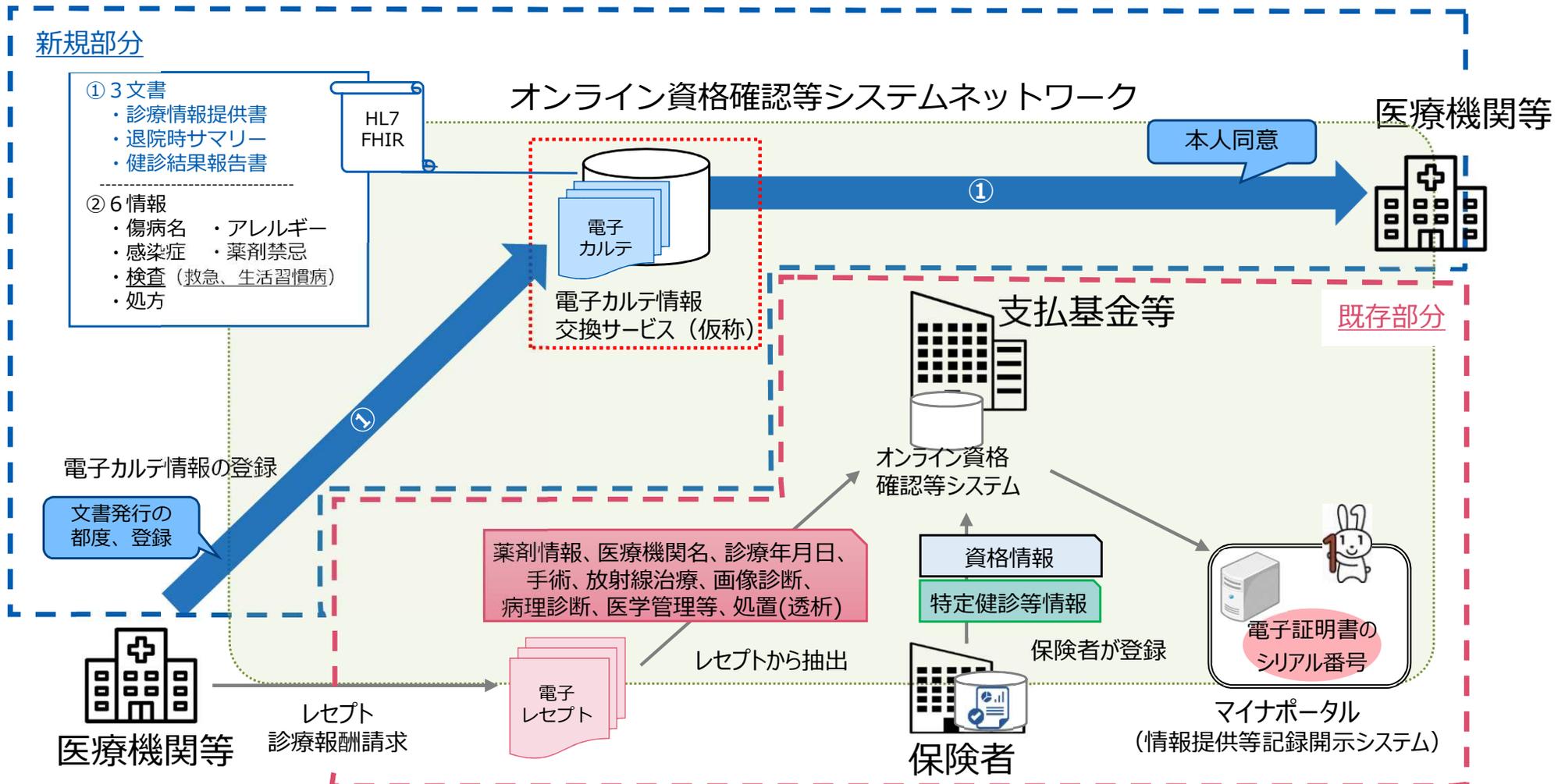
医療情報ネットワークの基盤に関する ワーキンググループにおける議論について

電子カルテ情報等の標準化 今後の進め方 (イメージ)



考えられる実装方法 (イメージ)

全国的に電子カルテ情報を医療機関等で閲覧可能とするため、以下の実装方法についてどのように考えるか。



① 医療機関等の中でやり取りする3文書情報について、既存のオンライン資格確認等システムのネットワーク上で相手先の医療機関等に送信し、相手先の医療機関等において本人同意の下で同システムに照会・受信できるようにしてはどうか。

送受信方式

現状の課題

- (1) FHIR準拠の文書を共有するための情報基盤の整理
 - ①具体的な仕組み ②基盤の開発・運用主体、運用費用の負担 ③ガバメントクラウドの活用 等
- (2) 共有すべき情報の整理
 - ①厚労省標準規格の情報拡充の計画策定 ②規格化及びコードの維持管理等の体制整備 等
- (3) 電子カルテの普及
 - ①情報化支援基金の要綱検討

議論する会議体（案）

◆ 健康・医療・介護情報利活用検討会

- ・ 今後上記を検討していくために、下記WGでの検討を指示・了承

【医療等情報利活用WG】

- ・ 厚労省標準規格の情報拡充の計画策定 等

【医療情報ネットワークの基盤に関するWG】

- ・ 情報基盤の具体的な仕組み、ガバメントクラウドの活用
- ・ 規格化及びコードの維持管理等の体制整備
- ・ 情報化支援基金の要綱 等

※なお医療情報ネットワークの基盤に関するWGについては、検討に当たって構成員の見直しを行う

◆ 社会保障審議会

【医療部会】・【医療保険部会】

- ・ 上記議論を報告